

事業報告書

令和 6 年度事業報告

本法人では、昭和 62 年 4 月の養和荘の開所以降、順次施設整備等を行い、令和 6 年度は 14 の拠点において延べ 33 事業に取り組みました。

基本理念である「選ばれる事業所・親しまれる事業所」に基づき、春日井市を中心とした尾張北部地域における障害福祉事業の担い手として、障害のある方々がより安心して暮らせるよう安全かつ適正なサービスを提供すると共に、経営基盤の安定化、健全な法人運営に努め、サービスの質や職員の資質の向上を図りました。

令和 6 年度の主な事業実績につきましては、以下のとおりです。

なお、各拠点別の事業報告明細書は、別添のとおりです。

1. 中期計画の推進

今後の施設・事業所運営の指針となる四つの基本方針に沿って定めた目標の達成、着実な推進に向け、基本方針ごとに設けた委員会において、令和 5 年度に中間見直しを行った目標項目について集中的に議論し、取組を進めました。

【計画期間】 令和 3 年度から 7 年度までの 5 か年

中期計画基本方針	委員会名	委員会の主な取組内容（6 年度）
I. サービスの質の向上	サービス向上	・強度行動障害への対応職員の育成、地域生活移行及び地域生活の支援、一般就労 等
II. 地域貢献	地域貢献	・ノウハウ等の地域還元(障害の理解促進・福祉の仕事の啓発・福祉出前講座・福祉体験)、地域の安心安全への取組の検討(防災教育等) 等
III. 人材の育成	人材育成	・ワークライフバランスの推進、人材の定着、働き甲斐のある魅力ある職場づくり 等
IV. 健全で透明性の高い運営	経営会議	

2. 財政基盤の安定

収入の大半を占める障害福祉サービス等事業収入については、3 年に一度の報酬改定による重度障害者支援加算及び処遇改善加算の増収により、昨年度より大幅に増加しました。

支出としては、人件費は、新たな処遇改善手当として手当を増額した他、人事院勧告を参考に賞与を 0.1 月分上乗せしたこと等により昨年度より増加し、事業費においてはほぼ同額、事務費においては修繕費等が下回ったことにより減少しています。

また、将来の施設設備の修繕や備品の更新などに備えるため、従来のグループホーム家賃相当分等に加え、基本財産の当期減価償却費のうち自己資金に相当する額を積立資産に積み増しを行いました。

全体としては、報酬改定の影響が大きく、当期の資金収支差額は前期に比べ約 6 千 4 百万円増加の約 1 億 9 千 5 百万円となりました。

3. 人材の確保・育成

新卒者 10 名程度の採用や年度途中での退職による欠員補充ができるよう、複数の就職情報サイトの活用や就職説明会への参加により求人活動を行うと共に、職員の定着や職員のスキルアップを図るため新たな処遇改善手当の支給や研修の充実に努めました。

(1) 職員の採用（正規職員）

ア. 採用状況

令和 6 年 4 月 2 日～令和 7 年 3 月 31 日 採用 8 名(支援員 8 名)

令和 7 年 4 月 1 日採用 11 名(支援員 10 名、事務員 1 名)

イ. 正規職員登用

2名

(2) 職員の退職

令和6年度中退職者 25名(定年1名、自己都合24名)

(3) 職員の処遇改善

令和5年度までの処遇改善手当等に、正規職員1人当たり月額6,000円(契約職員については1時間あたり30円)を加えた新たな処遇改善手当を支給しました。

(4) 職員研修の充実

ア. 新規採用職員研修(9名)とフォローアップ研修(6名)の実施

イ. 知的障害を理解するための基礎講座(14名)

ウ. 知的障害援助専門員養成通信教育の受講(13名)

エ. 新任副主任研修の実施(10名(令和5年度昇格者1名、令和6年度昇格者9名))

オ. 新任主任研修への参加(県社協12名)

カ. 新任管理職員研修への参加(県社協7名)

キ. 社会福祉法人経営塾への参加(全国社会福祉法人経営者協議会2名)

ク. 日本知的障害者福祉協会・愛知県知的障害者福祉協会等が主催する研修に参加

4. 会議等の開催

事業報告・収支決算や事業計画・収支予算の審議及び理事長の職務執行状況の報告等のため、理事会を4回、評議員会を3回開催しました。

理事会4回のうち1回は、早期の議決が必要であり役員が一堂に会するいとまがなかったこと及び法人運営の効率化を図る観点から、理事会の開催自体を省略して書面で賛否を問い、同意を得る方法(決議の省略)としました。

(1) 理事会

開催日		議 題 等
1	4月15日 (決議の省略)	【議題】①評議員選任・解任委員会の開催及び評議員候補者の推薦 ②評議員選任・解任委員の選任 ③法人運営貢献者の表彰
2	5月30日	【議題】①令和5年度計算書類・事業報告(附属明細書含む)及び財産目録の承認 ②定時評議員会の開催 ③令和6年度第1次収支補正予算(案) ④資金運用責任者の選任 【報告事項】①理事長の職務の執行状況 ②令和6年度第1回評議員選任・解任委員会の開催結果
3	11月14日	【議題】①規則等の改正及び廃止(組織規程の改正、妊娠、出産、育児、介護等に関するハラスメントの防止及び苦情処理に関する規程の廃止) ②令和6年度第2次収支補正予算(案) ③令和6年度第2回評議員会の開催 ④役員賠償責任保険 【報告事項】①理事長の職務の執行状況 ②中間監事監査の結果
4	3月14日	【議題】①規程等の改正(育児休業等に関する規程・介護休業等に関する規程・職員就業規則・契約職員等就業規則・キャリアパス規程・職員給与規程の改正) ②令和6年度第3次収支補正予算(案) ③令和7年度事業計画(案)及び収支予算(案) ④令和7年度資金運用計画 ⑤令和6年度第3回評議員会の開催 ⑥幹部職員の人事異動 ⑦評議員選任・解任委員会の開催及び評議員候補者の推薦 【報告事項】①勘定科目小区分変更 ②職員等の採用・退職の状況 ③令和7年度社会福祉法人養楽福祉会監事監査計画

(2) 評議員会

開催日		議 題 等
1	6月19日	【議題】①令和5年度計算書類及び財産目録の承認 ②令和6年度第1次収支補正予算(案) 【報告事項】①令和5年度事業報告 ②理事長の職務の執行状況
2	11月27日	【議題】①令和6年度第2次収支補正予算(案) 【報告事項】①理事長の職務の執行状況 ②中間監事監査の結果
3	3月28日	【議題】①令和6年度第3次収支補正予算(案) ②令和7年度事業計画(案)及び収支予算(案) 【報告事項】①幹部職員の人事異動 ②職員等の採用・退職の状況 ③令和7年度社会福祉法人養楽福祉会監事監査計画

(3) 評議員選任・解任委員会

開催日	議 題 等
5月13日	【議題】退任評議員の補欠の選任

(4) 監事監査

実 施 日	監 査 内 容
5月10日	令和5年度決算監査
10月10日・17日・24日	各施設等の巡回業務監査

(5) 運営会議

運営会議を年6回開催し、各施設の現況を共有すると共に、経営改善・事業間調整・サービス向上など施設運営に関する重要事項を協議しました。

5. 経営・労務管理の改善

平成28年度から公認会計士の助言・指導を受けながら、各種規程や資産管理の見直しなど経営・労務管理の改善に取り組んでおり、令和6年度においては、公認会計士による業務手順書の運用状況の検証や事務局との意見交換を実施し、専門家の知見を生かした経営・労務管理の改善に努めました。

6. 苦情解決体制の整備

「社会福祉法人養楽福祉会福祉サービスに関する苦情解決規程」に基づき、苦情解決のための体制を整えており、令和6年度は、キッチン高森で3件の苦情が寄せられました。

苦情の内容は、スタッフからの暴力、暴言及び職員から大きな声で怒鳴られたことについて調査して対応してほしいというもの。スタッフから嫌なことを言われており、支援員はきちんと支援しているのか書面で回答してほしいというもの。特定の職員の言葉がきついため、もう少し優しくしてほしいというものでした。

何れの苦情も調査の上、全ての申出者に対して、苦情解決責任者である施設長等から謝罪や再発防止対策の説明により納得いただくと共に、関係職員への指導を行い、職員間での情報共有を図りました。

今後とも職員の意識を高め利用者、家族への丁寧な対応に努めてまいります。

7. サービス評価の実施

福祉サービスの質の向上を図るため、平成27年度から「福祉サービス第三者評価」を受審しており、令和6年度は、養楽荘、みずほ、たかもりで実施しました。

8. 障害者虐待防止

「虐待防止対応規程」に基づき、虐待の未然防止や虐待発生時における迅速な対応と虐待の検証、再発防止策の検討を行いました。

虐待通報については、2つの入所施設であわせて2件あり、このうち「はるひ荘」において、居室の施設による身体拘束等の虐待があったと認定されました。

これらの通報事案の他、日々の支援を行う中で職員が気づいた事項について、施設・事業所の虐待防止委員会において検証し、再発防止策を講ずると共に、法人全体で検証結果等を共有しました。

9. 感染予防対策

新型コロナウイルス感染症、季節性インフルエンザ等の感染症について、入所施設で感染者が確認された場合は、個室での療養を基本とし、施設内での更なる感染拡大が起こらないようフロア単位での感染拡大防止策を講ずると共に、日常においては、マスクの着用、手指の消毒、換気の励行といった基本的な対策を行いました。

10. 事業継続計画（BCP）の整備等について

令和5年度までに策定したBCPに基づき、入所施設及び通所事業所において訓練を行い、必要に応じて見直しを行いました。

11. ICTの推進

業務の効率化及び事業所内の情報共有を図るため、令和5年度に就労系の通所事業所（なかざりワークス、さいおワークス、わかば、キッチン高森）及びグループホームに記録管理システムを導入したのに続き、令和6年度は生活介護事業所（はさま、みずほ、たかもり）に導入しました。

また、令和5年度から導入を始めた人事評価システムを全面活用するなど事務の効率化を図りました。

12. 借入金返済

借入先	年度当初借入残高	借入額	償還額	年度末借入残高
福祉医療機構	853,527千円	0千円	70,368千円	783,159千円
瀬戸信用金庫	341,623千円	0千円	29,556千円	312,067千円
合 計	1,195,150千円	0千円	99,924千円	1,095,226千円

13. 施設整備積立金

前年度末積立額	年度中積立額	年度中取崩額	年度末積立額
261,962千円	115,104千円	0千円	377,066千円

◎運用状況等（令和7年3月31日）

前年度末積立額のうち2億円は、将来発生する大規模修繕資金等に充てるため、令和4年末から償還期間5～7年の社債で運用しています。

年度中積立額としては、当期基本財産減価償却額のうち自己資金相当額、GH家賃相当額及び寄附金を積み立てました。

事業報告附属明細書（地域サポートセンター）

障害がある方の地域生活をサポートするために、共同生活援助事業、地域活動支援センター事業を実施しました。事業実績につきましては、以下のとおりです。

1 共同生活援助事業（グループホーム）

（1）利用実績

坂下・さいお・王子・花桃の4事業所13ユニット、利用定員73名で事業を実施しました。

延利用者数は、令和5年と比べ微増しています。要因は、満床になった月があったためですが、6年度後半に利用者の高齢化・重度化により、入所施設や医療的ケアが可能な他の施設に移行するため退居された方が4名いました。新規入居者は2名で、新規入居者が確保しにくい状況は続いています。

事業所	定員	年度	開所日数	延利用者数	利用率	1日平均利用者数
坂下	20名	令和6年度	365日	6,465名	88.56%	17.71名
	20名	令和5年度	366日	6,565名	89.68%	17.93名
さいお	16名	令和6年度	365日	5,241名	89.74%	14.35名
	16名	令和5年度	366日	5,176名	88.38%	14.14名
王子	19名	令和6年度	365日	5,193名	74.88%	14.22名
	19名	令和5年度	366日	5,047名	72.57%	13.78名
花桃	18名 (内2名は体験)	令和6年度	365日	5,485名	83.48%	15.02名
	18名 (内2名は体験)	令和5年度	366日	5,335名	80.98%	14.57名
合計	73名	令和6年度	365日	22,384名	84.00%	61.32名
	73名	令和5年度	366日	22,123名	82.80%	60.44名

地域生活支援拠点事業である花桃の体験事業は、下記のとおりの実績でした。

なお、地域生活支援拠点事業の体験事業の空床保証は、春日井市の意向により3月末をもって終了しました。今後は、相談支援センターと連携の下、各ホームの空床となっている居室を利用し、体験利用を実施します。

	ユニット	年度	契約者数	延利用者数
体験実績	めじろ (男性)	令和6年度	11名	190名
		令和5年度	10名	143名
	つぐみ (女性)	令和6年度	12名	117名
		令和5年度	10名	110名

（2）入退居状況

在宅及び、他のグループホームからの入居が2名、高齢化・重度化、体調不良による退居3名、ご本人の希望による退居1名でした。

入 居			退 居		
月 日	人数	備 考	月 日	人数	備 考
6月25日	1名	在宅より（さつき） 入所ロングショート 利用者 他法人GHより（さい お）	8月31日	1名	・（さつき）ご本人の希 望により自宅へ
2月5日	1名		12月2日	2名	・（坂下）高齢化により 第2養和荘へ ・（さいお）カテーテル 留置のため 春日苑へ ・（さいお）重度化により 養和荘へ
			2月28日	1名	

（3）行事

・交流会（6月）

各ホームで、夕食に保護者を招き、世話人と交流を図りました。

・外出（10月27日、11月3日）

土日の余暇を利用し、名古屋港水族館へ出かけました。違うホームの利用者同士で交流を図ることができました。

・外注食（月に1度）

利用者のリクエストに応じ、外注食を実施しました。ハンバーガーや唐揚げ弁当など予算を決めて発注し、いつもと違う食事を楽しみました。

・食事会（12月7日）

全ホームの利用者・保護者・世話人・職員が集まり、食事会で交流を図りました。保護者会によるビンゴゲームやカラオケ大会などを楽しみました。

・地域行事への参加（12月1日他）

地域の祭りや防災訓練などに参加し、地域での交流を図りました。

（4）健康管理

病気の早期発見・予防のためにしんまちクリニック看護師による GH への定期巡回を行いました。希望する利用者には、訪問診療等があり、安心した生活を送ることができています。

【感染症発生状況】

発生状況	時 期	ホーム	陽性者合計
コロナウイルス	9月25日～9月30日	さいお	1名
	11月29日～12月4日	ひばり	1名
	1月1日～1月7日	坂下	5名
	1月8日～1月14日	虹	1名
	1月11日～1月16日	つぐみ	1名
	小計		9名
インフルエンザA 型	12月18日～12月24日	王子	1名
	12月16日～12月26日	中切・下条	7名
	12月19日～12月25日	さいお	1名
	小計		9名
合計			18名

感染予防対策として、手洗い、消毒、マスク着用の励行に努めましたが、新型コロナウイルスは延べ9名、インフルエンザは9名の陽性が確認されました。発生したユニットでは居室で静養していただき、感染の拡大防止を図ると共に、生活支援員が事業所へ向かい、日中支援を行いました。利用者のうち、入院は2名でした（がんによるイレウス、虫垂炎）。いずれも、看護師を中心に往診医・家族・病院と連携を図り対応しました。

2 地域活動支援センター事業（土日）

令和5年度まで、坂下（定員：14名）と高森（定員：14名）の2か所で運営していた地域活動支援センターを、令和6年度から坂下のみでの運営とし、定員を19名に増やしました。グループホーム利用者を中心に、土日の日中活動を支援し、感染症発生時には日中支援で対応しました。生活支援員の確保が難しい場合には、各ホームでの日中支援を実施しました。活動内容は、ドライブや外出、買い物などの社会参加を促進し、リフレッシュにつながるよう努めました。

事業所	年度	開所日数	延利用者数	利用率	1日平均利用者数
坂下	令和6年度	100日	1,608名	84.63%	16.08名
	令和5年度	93日	916名	70.35%	9.84名
たかもり	令和5年度	54日	610名	80.68%	11.29名

3 防災・防犯対策

下記のとおり避難訓練を実施しました。

グループホーム	火災想定 各ユニット1回
	地震→火災想定 各ユニット1回
地域活動支援センター	風水害想定 対象ユニット各1回 (王子・中切・下条)
	地震→火災想定 1回

4 虐待防止・身体拘束適正化委員会の実施及び研修

(1) 虐待防止・身体拘束適正化委員会

センター職員が出席し、世話人への研修の実施方法について議論しました。

(2) 虐待防止・身体拘束適正化研修

センター職員・世話人へ虐待防止研修及び身体拘束適正化研修を行いました。障害者虐待及び身体拘束の基本の研修では、全員が同じ動画を視聴し、基本を振り返る良い機会となった、自分自身も気を付けていこうと思ったなどの感想を得ました。

7月～動画視聴後感想文提出

2月 世話人会議にて事例検討

3月 全体会議にてオンデマンドの視聴

事業報告附属明細書（総合相談支援センター）

障害のある方が住み慣れた地域でその人らしく、より豊かに生活できるように、春日井市相談支援事業（委託相談）、指定特定相談支援事業及び指定障害児相談支援事業（計画相談）、指定一般相談支援事業（地域移行支援・地域定着支援）、障害者就業・生活支援センター事業（雇用安定等事業・生活支援等事業）を実施しました。

事業実績につきましては、以下のとおりです。

1 障がい者生活支援センターかすがい

（１）春日井市相談支援事業（委託相談）

春日井市の委託を受け、社会福祉士の資格を有する相談員３名（専従２名・兼務１名）を配置し、市内在住の主に知的に障害のある方等に対して、必要な情報等を提供する基本相談を実施しました。

相談内容の主なニーズとしては、健康や医療面に関する相談や福祉サービスの利用に関する相談が多く、具体的には、医療機関の案内や受診同行等を行うなどして対応しました。

また、地域生活支援拠点の機能については、土日のセンター開所に加え、緊急時における支援やグループホーム花桃体験のコーディネートを実施しました。このグループホーム花桃体験のコーディネート事業については、春日井市の方針により令和６年度末をもって終了となりました。

	令和６年度	令和５年度	前年度比
相談件数	1,629 件	2,081 件	78.27%
相談者数（新規）	211 名	192 名	109.89%

（２）指定特定相談支援事業、指定障害児相談支援事業（計画相談）

障害の種別を問わず、必要な障害福祉サービス等に繋げるための計画相談は、上記（１）との兼任者を含め、研修（初任者・現任者）修了者の計５名の体制で実施しました。相談支援専門員としての資質向上を図るため、事業所内での月１回の事例検討会開催に加え、定期的に開催される相談支援研修会にも参加しました。

	計画相談	モニタリング	集中加算及び モニタリング加算単独
令和６年度	506 件	914 件	305 件
令和５年度	520 件	1,023 件	245 件
前年度比	97.30%	89.34%	124.48%

（３）指定一般相談支援事業（地域移行支援・地域定着支援）

地域移行支援については、長期に渡り精神科病院に入院されていた方に対し、集中的に相談支援を実施し、結果的に市内のグループホームへ地域移行したため、前年度以上の実績となりました。なお、地域定着支援については、相談実績はありませんでした。

	地域移行支援	地域定着支援
令和 6 年度	4 件	0 件
令和 5 年度	3 件	0 件
前年度比	133.33%	---%

2 尾張北部障害者就業・生活支援センターようわ（雇用安定等事業・生活支援等事業）

国（労働局）と県（福祉局障害福祉課）より委託を受け、主任就業生活支援ワーカー1名、就業支援ワーカー4名（うち1名は令和7年3月から）、生活支援ワーカー1名を配置し、障害者の就業面と生活面について一体的な支援を実施しました。

相談者からの相談内容の傾向として、就業面においては、仕事や求人選択の段階で家族の意向が強く反映され、マッチングの段階で失敗するケースが多く、また、生活面においては、金銭管理や健康管理など様々なカテゴリーに属する複数の要因が絡み合っているケースも散見されました。なお、障害者の法定雇用率が2.5%に引き上げられたことに伴い、企業や関係機関からの相談に関しては、前年度より増加したのが特徴的でした。

その他、通常の相談支援業務以外に、一般企業や就労系事業所を交えてのネットワーク構築のための会議や講演会の講師受任等を計7回、在職中の登録障害者を対象とした交流活動やピア・サポート活動を計4回開催しました。

	令和 6 年度	令和 5 年度	前年度比
登録者	917 名	951 名	96.42%
相談件数	※6,427 件	8,522 件	75.41%
職場実習件数	51 件	56 件	91.07%
就職者件数	97 件	93 件	104.30%
職場定着率	82.8%	77.5%	106.83%

※相談件数内訳（R6：登録者：3,818 件、関係機関：924 件、事業主：1,685 件）

3 その他

（1）感染症対策

マニュアル等について全面改訂を実施、相談員に周知すると共に、定期的に感染症委員会を開催し、スタッフ会議を通じて勉強会を開催しました。

（2）防災・防犯対策

大規模災害時における BCP の見直しを定期的に行い、有事の際に活用する連絡手段の確認を行いました。防犯面については、来訪者への対応方法、自衛の方法などについて再確認しました。

事業報告附属明細書（障害者支援施設 養和荘）

生活介護事業（定員 75 名）、施設入所支援事業（定員 75 名）、短期入所事業（定員 5 名）を提供してきました。事業実績につきましては、以下のとおりです。

1 利用者実績

	定員	年度	開所日数	延利用者数	利用率	1 日平均 利用者数
生活介護	75 名	令和 6 年度	269 日	20,027 名	99.26%	74.44 名
		令和 5 年度	270 日	20,004 名	98.78%	74.08 名
施設入所	75 名	令和 6 年度	365 日	27,068 名	98.87%	74.15 名
		令和 5 年度	366 日	26,997 名	98.34%	73.76 名

2 入退所状況

入 所			退 所		
月 日	人数	備 考	月 日	人数	備 考
5 月 1 日	1 名	はるひ荘から	4 月 30 日	1 名	第二養和荘へ
6 月 3 日	1 名	はるひ荘から	5 月 31 日	1 名	第二養和荘へ
8 月 30 日	1 名	他法人障害者支援 施設から	8 月 30 日	1 名	他法人障害者支援 施設へ
2 月 1 日	2 名	在宅から	12 月 12 日	1 名	死亡
3 月 3 日	1 名	GH から	12 月 30 日	1 名	死亡
3 月 5 日	1 名	他法人 GH から	1 月 19 日	1 名	死亡
			2 月 28 日	1 名	第二養和荘へ

3 支援内容

（1）個別支援計画・支援手順書

個別支援計画に沿った支援を行い、支援手順書で支援の統一を図ってきました。6 か月に 1 回更新を行い、面談を中心に実施しました。

（2）健康管理

利用者の健康管理を以下のとおり実施しました。

5 月 21 日	利用者健康診断	名古屋公衆医学研究所検診車
10 月 15 日	利用者健康診断	名古屋公衆医学研究所検診車
11 月 14 日	インフルエンザ予防接種	出川もりクリニック
月 1 回	嘱託医来所、健康相談	岡川医師
月 1 回	内科医による診察	出川もりクリニック

感染症予防対策として手指消毒、マスクの着用等実施していましたが、インフルエンザに利用者 1 名、職員 2 名が罹患し、新型コロナウイルスに延べ利用者 3 名、職員 11 名が罹患しました。クラスター化することなく、施設内療養により、利用者支援を継続しました。

(3) 食事

施設の管理栄養士がメニューを立て、キッチン高森に委託して食事提供をしました。

また、栄養マネジメントの観点から、利用者毎に食事形態・カロリー・嗜好などを配慮した献立作りも行ってきました。

(4) 入浴

週 6 回程度で、昼入浴・夜入浴に分かれて入浴をしていただきました。併せて健康チェックとして、皮膚の状況や打撲等の確認も行いました。

(5) 日中活動

活動名称・員数	内 訳	活 動 内 容
療育 (33 名)	男性：33 名 女性：0 名	利用者の特性に応じ、長距離・短距離・フロア歩行という 3 つの班に分け体を動かし、健康促進の機会を設け生活リズムと情緒の安定を図りました。
スヌーズレン (12 名)	男性：7 名 女性：5 名	スヌーズレン機器を使って活動をしました。自分たちで好きなものを選択し、穏やかに過ごしました。
運動 (18 名)	男性：9 名 女性：9 名	多目的室で個人に合った運動器具を使ったり、ウッドデッキを歩行したりし、基礎体力の維持向上に努めました。
園芸・創作 (13 名)	男性：0 名 女性：13 名	園芸では気候の良いときに草取りや水やりを実施しました。創作では多種多様な素材を自分たちで選び作成し、アール・ビュリュト展やむがむちゅう展等に出品しました。
ヒップホップ (16 名)	男性：10 名 女性：6 名	荘内ではふれあいまつり、荘外ではきずなコンサートや愛知医療療育総合センター、みんなの Live フェスティバルにて発表を行いました。
音楽療法 (50 名)	男性：25 名 女性：25 名	音楽療法士による音楽療法を実施しました。季節の曲を中心に、楽器や歌、カラー布を使用しながら、意思の表出等、心身の健康促進、他者とのコミュニケーション促進を図りました。

※ 利用者の活動状況を見て本人に適した活動を行うため重複している方がいます。

(6) 環境整備

日常の清掃も含め清潔で安全な生活環境が提供できるよう早期対応してきました。

(7) 虐待防止・身体拘束適正化

虐待防止委員会を中心に、毎月のセルフチェック、内部研修を毎月の会議の際に実施しました。

4 短期入所事業

去年度と比べ、長期利用者が入所、GH入居したことにより、利用率が下がりました。

	定 員	年 度	開所日数	延利用者数	利用率	1 日平均 利用者数
短期入所	5 名	令和 6 年度	365 日	1,344 名	73.64%	3.68 名
		令和 5 年度	366 日	1,627 名	88.90%	4.44 名

5 防災防犯対策

災害発生時に利用者・施設来荘者の生命を守る事を最優先に訓練を実施しました。緊急避難用マットレスを購入し、職員全員が使用する訓練を行ったほか、春日井市消防署東出張所と合同訓練を実施しました。防犯対策では、防犯マニュアルを基に、防犯機器の取り扱い研修を行ってきました。

実施日	訓練内容
4月2日	AED訓練・消火訓練等（新規採用・中途採用者対象）
5月18日	炊き出し訓練
6月28日、7月29日 8月23日、2月20日	夜間想定火災避難誘導・通報訓練
9月2日	総合防災訓練（日中想定火災避難誘導） 春日井市消防署と情報交換会
11月29日	夜間想定地震による火災避難誘導・通報訓練
12月26日	春日井市消防と合同訓練、日中想定地震による火災避難誘導・通報訓練、はしご車体験
1月30日	緊急連絡網による連絡訓練
2月18日・21日	机上訓練（地震・火災想定）

6 施設連携

入所施設（養和荘・第二養和荘・養楽荘・はるひ荘）間で、施設長会、各委員会（虐待防止・身体拘束適正化、感染症対策、BCP、地域移行、研修）活動を実施しました。法人のスケールメリットを活かした、研修の連携、情報共有、課題検討等を行いました。また、施設の役割に応じた受け入れを推進するため、はるひ荘より女性利用者を受け入れました。

7 その他

（1）施設行事

実施日	行事等	行先・開催場所
8月20日	夏まつり	養和荘会議室（かき氷・魚釣りや射的を楽しむ）
10月5日	ふれあいまつり	グラウンド（保護者とともにステージを楽しむ）
11月12日他	秋の行楽	ぎふ清流里山公園他
12月25日	クリスマス会	養和荘各フロア
1月7日	もちつき	養和荘多目的室
1月10日	新年会	養和荘多目的室（食事会）
8月9日他	買物	養和荘多目的室（移動販売）
外食	カフェはなもも（グループ外食）、うなぎの菊水他（テイクアウト）	

（2）学生実習

保育施設実習1校、2名の学生を10日間ずつ、教員免許特例法による介護等体験は2校、計19名の学生を5日間ずつ受け入れました。

事業報告附属明細書（障害者支援施設 第二養和荘）

施設入所支援事業（定員 40 名）、生活介護事業（定員 40 名）、短期入所事業（定員 2 名）を実施しました。高齢知的障害者の支援施設として、利用者が快適な日常生活を送ることができる環境を提供するために、個々の生活習慣を尊重するように心掛け、身体機能の低下や認知症を含めた心身の状況に適した支援を行ってきました。また、医療機関との連携も図りました。

事業実績につきましては、以下のとおりです。

1 利用実績

	定員	年度	開所日数	延利用者数	利用率	1 日平均利用者数
生活介護	40 名	令和 6 年度	269 日	9,956 名	92.52%	37.01 名
		令和 5 年度	270 日	10,679 名	98.87%	39.55 名
施設入所	40 名	令和 6 年度	365 日	13,504 名	92.49%	36.99 名
		令和 5 年度	366 日	14,463 名	98.79%	39.51 名

2 入退所の状況

入 所			退 所		
月 日	人数	備 考	月 日	人数	備 考
5 月 1 日	1 名	養和荘から	6 月 30 日	1 名	死亡
6 月 1 日	1 名	養和荘から	8 月 13 日	1 名	死亡
8 月 1 日	1 名	養楽荘から	9 月 1 日	1 名	死亡
9 月 2 日	1 名	養楽荘から	9 月 21 日	1 名	死亡
12 月 2 日	1 名	GH坂下から	9 月 25 日	1 名	死亡
2 月 10 日	2 名	養楽荘から	9 月 26 日	1 名	死亡
3 月 1 日	1 名	養和荘から	3 月 27 日	1 名	死亡

3 支援内容

(1) 個別支援計画・支援手順書

対面での個別懇談会を主に実施しましたが、ご家族の都合等により、書面や電話等での意向確認となるケースもありました。各利用者 6 か月に 1 回の見直しを行いました。

(2) 健康管理

利用者の健康管理として、下記のとおり実施しました。

5 月 16 日	利用者健康診断	名古屋公衆医学研究所検診車
10 月 17 日	利用者健康診断	名古屋公衆医学研究所検診車
11 月 14 日	インフルエンザ予防接種	しんまちクリニック
月 1 回	嘱託医来所、健康相談	岡川医師
月 1 回	内科医による診察	しんまちクリニック 勝野伸介医師
月 2 回	訪問歯科診療	医療法人さくら会 さくら歯科

今年度も引き続き手洗い・うがいの励行、手指や器具類のアルコール消毒やマスクの着用を実施し、感染防止に努めました。インフルエンザ罹患者は、職員、利用者共に0名、新型コロナウイルス罹患者は職員3名、利用者0名であり、利用者への感染は防ぐことは出来ました。また、転倒による怪我の防止のためのシルバーカーやセンサーマット・離床センサーの活用等、利用者の高齢化に伴っての身体機能の低下への対応を利用者個々に行いました。病気による医療機関への入院は下記のとおりでした。

年度	入院者数	入院期間
6年度	10名(11回)	323日(入退院日を含む)
5年度	6名(6回)	167日(入退院日を含む)

(3) 食事

施設の管理栄養士がメニューを立て、キッチン高森に委託して給食提供しました。利用者の状況を栄養士に報告し、食事形態や提供方法を個々の状態に合わせて対応しました。また、食前に嚥下体操を行い誤嚥の予防に努めました。

(4) 入浴

月・水・金曜日を入浴日とし、利用者の介護度により一般浴と機械浴に分けて実施しました。発汗や汚染した際には適宜シャワー浴を行いました。

(5) 日中活動

創作活動で制作した作品は、あいちアールブリュット展(優秀賞1点受賞)、ふれあいアート展(中日新聞社会事業団賞1点、愛知県セルフセンター会長賞1点受賞)等の作品展への出展を行いました。また、リハビリ等の活動も無理のない範囲で実施し、利用者の身体機能の維持に努めました。

活動名称	活動内容
リハビリ (午前)	訪問リハビリの理学療法士にアドバイスをいただきながら、利用者個々に合ったリハビリ運動を実施し、筋力・身体機能の維持に取り組みました。また、スノーズレン棟やグラウンドの人工芝スペースで過ごす等、心身共にリラックス出来る時間も設けました。
創作活動 (午前・午後)	利用者個々に、作品展への出展を目指しての作品づくりに取り組みました。全体としては、季節行事に合わせた装飾品の作成を中心に取り組みました。
レクリエーション	カラオケを中心に行い、利用者皆で楽しみました。

(6) 環境整備

日常的な施設設備の点検や、経年劣化による設備の不良部分の修繕等を行いました。また、日頃の館内清掃をさいおワークス(就労継続支援B型)に委託を開始し、館内の清潔を保ち、利用者が快適に生活することができる環境作りに努めました。

(7) 虐待防止・身体拘束適正化

虐待防止委員会及び身体拘束適正化委員会を設置し、その内容を職員に周知徹底すると共に、研修を実施しました。また、職員へのアンケートを実施し虐待関連の課題抽出し、虐待防止や身体拘束の適正化をより推進する試みも実施しました。

4 短期入所事業

新規で契約者が1名増え、延べ利用者数が増加しました。

	定員	年度	開所日数	延利用者数	利用率	1日平均利用者数
短期入所	2名	令和6年度	365日	98名	13.42%	0.26名
		令和5年度	366日	50名	6.83%	0.13名

5 防災・防犯対策

火災・震災・風水害発生を想定した避難誘導訓練等については、下記のとおり実施しました。実際に被災した際にも対応が出来るよう、毎回異なる状況を細かく想定する等工夫しながら実施しました。また、業務継続経過（BCP）の見直し、備品購入等も行ってきました。

4月7日、8日	AED講習、消火訓練（新規採用・中途採用者対象）
5月28日、6月20日、10月26日、11月21日	夜間の火災想定、通報及び避難誘導訓練
9月2日	日中の火災想定、避難誘導訓練
3月18日	風水害想定、避難誘導訓練
8月30日～9月5日	災害用伝言ダイヤル（171、Web171）訓練

6 施設連携

入所施設（養和荘・第二養和荘・養楽荘・はるひ荘）間で、施設長会や各委員会活動（虐待防止・身体拘束適正化、感染症対策、BCP、地域移行、研修）を実施しました。法人のスケールメリットを活かした研修の連携、情報共有、課題の検討等を行いました。

7 施設行事

行事等については下記のとおり実施しました。少人数でのグループ外出・外食については、新型コロナウイルス感染対策継続の為、全利用者テイクアウトでの対応とし、可能な方に関してはドライブにて商品の受け取りに出掛ける等、工夫して実施しました。その他の行事についても、第二養和荘館内で無理なく楽しめるよう工夫しながら行いました。

実施日	行事等	行先・開催場所・内容等
5月8日	端午の節句（菖蒲湯）	1階、2階各浴室
8月20日	夏祭り（花火等）	1階ダイルーム、グラウンド側アスファルト部分
11月26日	腹話術ボランティア	1階ダイルーム
12月25日	クリスマス会	2階ダイルーム
12月30日～ 1月5日	入浴デー（1階：入浴剤、 2階：フルーツ風呂）	1階、2階各浴室
2月4日～10日	第二養和荘作品展	高蔵寺ふれあいセンター
3月18日～23日		坂下公民館
7月25日 他4日間	外食	アピタ高蔵寺店、バンテリンドーム名古屋、鮎ヤナ招待（洞戸観光ヤナ）、東山動物園

事業報告附属明細書（障害者支援施設 養楽荘）

施設入所支援事業（定員 40 名）、生活介護事業（定員 40 名）、短期入所事業（定員 5 名）を実施しました。施設入所利用者の平均年齢は 51.3 歳（男性 55.9 歳、女性 46.8 歳）、平均障害支援区分は 5.7（男性 5.8、女性 5.6）になりました。平均年齢は前年から男性が 2.7 歳増加、女性は 3.5 歳減少しており、男性の高齢化が進んでおります。事業実績につきましては以下のとおりです。

1 利用者状況

	定員	年度	開所日数	延利用者数	利用率	1 日平均利用者数
生活介護	40 名	令和 6 年度	269 日	10,805 名	100.41%	40.16 名
		令和 5 年度	270 日	10,638 名	98.50%	39.40 名
施設入所	40 名	令和 6 年度	365 日	14,434 名	98.86%	39.54 名
		令和 5 年度	366 日	14,227 名	97.17%	38.87 名

2 入退所状況

入所			退所		
日付	人数	備考	日付	人数	備考
4 月 1 日	1 名	はるひ荘から	7 月 31 日	1 名	第二養和荘へ
8 月 1 日	1 名	はるひ荘から	8 月 31 日	1 名	第二養和荘へ
9 月 2 日	1 名	はるひ荘から	9 月 23 日	1 名	死亡
12 月 1 日	1 名	短期利用者から	2 月 10 日	2 名	第二養和荘へ
3 月 1 日	2 名	短期利用者から			

3 支援内容

（1）個別支援計画・支援手順書

利用者支援の基本となる支援計画については、引き続き半年に 1 回の見直しを行っております。強度行動障害のある方への支援手順書については毎月のモニタリング時に見直し、個々の問題の認識が細やかに行いました。

（2）健康管理

利用者の健康管理を以下のとおり実施しました。

【定期健診・予防接種】

日付	内容	機関名
5 月 22 日	春の健康診断（心電図）	名古屋公衆医学研究所
10 月 22 日	秋の健康診断（胸部レントゲン）	同上
11 月 20 日	インフルエンザ予防接種	しんまちクリニック

【嘱託医・往診等】

頻度	内容	機関名
毎月 1 回	健康相談等	岡川医師（嘱託医）
3～5 週に 1 回	内科医による診察	しんまちクリニック
3～5 週に 1 回	精神科医による診察	あさひが丘ホスピタル
2～3 週に 1 回	歯科医師による検診・治療	さくら歯科

【入院・救急搬送等】

日付	内容	医療機関	備考
5 月 21 日～5 月 28 日	逆流性食道炎、尿路感染	名古屋徳洲会病院	
9 月 23 日	肺塞栓	同上	本人死亡
10 月 12 日～12 月 4 日	骨盤と右大腿骨骨折	同上	短期利用者
10 月 28 日～11 月 1 日	重度の貧血⇒輸血	同上	
12 月 4 日～12 月 11 日	胆管炎	同上	
1 月 24 日～1 月 28 日	総胆管結石	同上	

【感染症】

日付	内容	備考
1 月 10 日～2 月 4 日	インフルエンザ A 型集団感染	10 名感染
3 月 13 日～3 月 30 日	新型コロナウイルス集団感染	16 名感染

9 月 23 日の肺塞栓症による死亡事案については、激しい自傷行為がある利用者であり、その経緯や説明を保護者に丁寧に行い、ご理解を得ております。

（３）食事

管理栄養士の献立に則り、キッチン高森に委託して食事提供を行いました。利用者の嚥下の状態や体重に応じて食事の形態や量を見直すことで健康維持を図りました。また、希望メニューの聞き取りをし、献立に反映することで食事の楽しみも確保しました。

（４）入浴

男女とも最低週 3 回以上の入浴を実施しました。より安心してゆったり入浴できるようにグループ分けをして月水金と火木土の 2 グループで入浴する体制に変更しました。

（５）日中活動

午前の活動は音楽をかけながら運動またはスノーブレンを楽しんで頂く活動とし、午後の活動は自立課題班と生活スキル向上の作業班、ゆったりと過ごすフロアスノーブレン班に分けて活動しました。秋の過ごしやすい日にはドライブや歩行を積極的に取り入れて、運動量の確保にも努めました。

（６）環境整備

年 2 回の定期的な大掃除により、清潔を保ちました。修繕については、エアコンなど、定期メンテナンスが必要なものの故障に対処しました。また、機械浴が開所から 8 年経過し、消耗品部分の劣化が著しいため臨時で処置しました。

(7) 虐待防止・身体拘束適正化

委員会活動は3か月に1回程度設けており、虐待が無いかのセルフチェックなどを通して虐待の防止に努めました。

8月7日に春日井市へ短期利用者保護者から虐待の通報がありました。市の調査を受け、虐待認定はされませんでしたが、当該利用者にある外傷の説明が日中事業所と養楽荘とで食い違いのある説明であったことから、申し送りの徹底のため、短期利用者のボディーチェック回数を増やしたことで再発防止を図りました。

身体拘束適正化委員会については、検討資料に身体拘束の同意書をそのまま用いることで抜け漏れなく3要件の考証が出来るようにブラッシュアップしました。

4 短期入所事業

	定員	年度	開所日数	延利用者数	利用率	1日平均利用者数
短期入所	5名	令和6年度	365日	1,230名	67.39%	3.36名
		令和5年度	366日	983名	53.71%	2.68名

原則男性3名、女性2名の運用です。男性については身寄りが少なく、行き場が無い方を一旦預かり、施設入所へのつなぎとして活用することが多かったです。2～3か月程度の短期利用から施設入所に繋がりました。女性については虐待により家庭に帰ることが出来ない利用者を緊急で受け入れ、地域ニーズに貢献しました。

5 防災・防犯対策

防災訓練は以下のように行いました。

日付	種類	内容
5月16日	火災	夜間想定・避難訓練
6月26日	火災・地震	日中想定・避難訓練
7月11日	地震	炊き出し訓練
9月2日	火災・地震	法人総合防災訓練
11月17日	防犯	防犯訓練
1月16日	地震	停電時の食事提供訓練
2月15日	地震	171訓練
3月18日	風水害	机上訓練

また、BCP委員会と協力し職員への研修・訓練も以下のとおり行いました。

日付	種類	内容
10月22日	訓練	発電機運転訓練
11月15日	訓練	生活用水運搬訓練
1月23日	研修	断水時のトイレ研修
1月23日	訓練	AED訓練

6 施設連携

入所施設（養和荘・第二養和荘・養楽荘・はるひ荘）間で、施設長会、各種委員会（虐待防止・身体拘束適正化、感染症対策、BCP、地域移行、研修）活動を実施しました。法人のスケールメリットを活かした研修の連携、情報共有、課題の検討等を行いました。また、施設の役割に応じた受入れを推進するため、はるひ荘から女性利用者を受け入れました。

7 その他

（1）外出・イベント

グループ外出から、個のニーズに着目し個別外出に変更したことにより満足度が高いものになり、本人・保護者様からも好評です。意思形成支援に必要な「新しい経験」を提供できる貴重な機会となりました。

餅つきやクリスマス会などの従来のイベントに加え、なかざりワークスのパンを食べる機会として、パン祭りなどを企画し、利用者の楽しみの質の向上を図りました。

（2）職場体験・職場見学・実習・ボランティア

新規採用職員等の見学、職場体験、理美容学生の実習、警察学校ボランティアの受入、新規ボランティアの開拓など事業所を中から知ってもらえるよう積極的に取り組みました。

（3）職員面談・研修・メンタルヘルス

新人職員のフォローアップに力をいれ、研修方法の変更や改良を目的に打ち合わせを年に3回設け、新人の独立に向けた業務チェック表の見直し、独立前に役職者による効果測定の実施、効果測定の結果により研修の延長（付添研修期間、通常2か月から最大6か月へ）、及び新人の能力や特性に合わせた業務内容の調整を行いました。また新人の教育訓練において業務マニュアルの見直し、業務マニュアルの動画化等の改善を行いました。新人職員を含めた全職員への役職者の個別面談やフォローアップにより離職や休職を低減できるよう努めました。

看護師が衛生管理者2種を取得し、職場環境の改善とメンタル面でのサポート体制が整え、面談窓口を開設し、風通しの良い職場づくりを心掛けました。

（4）生産性向上の取組（3M5S）

自らの職場の中のムリムダムラを自ら直していく、整理・整頓・清掃・清潔・躰を自ら実施していくことを目標に3M5S担当を作り、現場の意見を聴き取りながら職場環境の改善、業務の効率化を図りました。

（5）第三者評価の実施

外部評価機関（中部評価センター）による第三者評価を受審しました。

事業報告附属明細書（障害者支援施設 はるひ荘）

施設入所支援事業（定員 40 名）、生活介護事業（定員 40 名）、短期入所事業（定員 5 名）を実施しました。入所を希望される方は男性が多いという地域のニーズを踏まえ女性利用者の他施設への移行を進め、8 月末で移行が完了しました。9 月からは男性利用者のみの施設となり、順次男性利用者の受け入れをしました。令和 6 年度末の現員は施設入所 38 名です。そのうち強度行動障害の状態の方は 33 名です。

事業実績につきましては以下のとおりです。

1 利用実績

	定員	年 度	開所日数	延利用者数	利用率	1 日平均 利用者数
生活介護	40 名	令和 6 年度	269 日	8,795 名	81.73%	32.69 名
		令和 5 年度	270 日	9,579 名	88.69%	35.47 名
施設入所	40 名	令和 6 年度	365 日	12,772 名	87.47%	34.99 名
		令和 5 年度	366 日	13,400 名	91.53%	36.61 名

2 入退所状況

入 所			退 所		
月 日	人数	備 考	月 日	人数	備 考
9 月 1 日	6 名	在宅または短期入所の長期利用者から	4 月 1 日	1 名	養楽荘へ
			5 月 1 日	1 名	養和荘へ
11 月 1 日	2 名	短期入所の長期利用者から	6 月 1 日	1 名	養和荘へ
			8 月 1 日	1 名	養楽荘へ
2 月 15 日	1 名	在宅から	9 月 1 日	1 名	養楽荘へ
			1 月 11 日	1 名	死去

3 支援内容

（1）個別支援計画・支援手順書

原則 6 か月に 1 度見直しを行い、支援計画の策定を行いました。モニタリングにあたっては、利用者参加による個別支援会議を支援員と看護師等専門職を交えて開催しました。強度行動障害の状態の利用者へは、支援手順書を作成しました。

（2）健康管理

ア 利用者の健康管理を以下のとおり実施しました。

毎月 1 回	健康相談等	岡川医師
	内科医による診察	しんまちクリニック
	精神科医による診察	あさひが丘ホスピタル
5 月 24 日	健康診断①	名古屋公衆医学研究所
10 月 23 日	健康診断②	
11 月 21 日	インフルエンザ予防接種	しんまちクリニック

イ 入院

2名	重積発作
1名	食事を詰まらせて窒息。救急搬送するが意識・自発呼吸なく入院。誤嚥性肺炎。意識・自発呼吸ともに回復せずその後死去。

窒息により利用者が死去される事故がありました。食事形態や提供方法等の見直しや緊急対応訓練等、再発防止と発生時により良い対応ができるよう取り組みました。

ウ 感染症

感染対策委員会を設置し、研修や平時の予防と発生時の対応強化に取り組みました。新型コロナウイルス罹患者は7名、インフルエンザ罹患者はありませんでした。

その他、胃腸炎が3回（5・8・2月頃）に渡り流行し、延べ43名が罹患しました。嘔吐・下痢等の症状が出ましたが、重症化する方はいませんでした。

（3）食事

キッチン高森に委託し、栄養面、嗜好、季節感等を考慮した食事の提供を行うと共に、嗜好調査を行いました。月に一度の給食会議では、看護師・管理栄養士・支援員が連携し、主治医のアドバイスのもと、個々の身体状況に合わせて摂取カロリーの変更、食事形態の見直しを行い健康増進と事故防止に努めました。

（4）入浴

心身のリフレッシュと清潔保持のため、週3回以上の入浴を実施しました。感染症への対応による棟閉鎖中は、ドライシャンプーや清拭を実施しました。

（5）日中活動

日中活動では、利用者のニーズをもとにグループに分かれて音楽・動画鑑賞や創作活動、体を動かす機会を提供しました。余暇活動では、スノーズレン棟でリラックスしたり、利用者個々に好きなものや心地よい過ごし方を見つけるよう取り組みました。

また、作品展への出展や、近隣のコンビニやスーパーなどへの買い物など、地域社会との繋がりを持てる機会を作りました。

（6）行事

ア 荘内行事

荘内で季節のイベント（七夕、バーベキュー、クリスマス会、新年会等）を楽しみました。行事日は適切に人員を確保し、事故のないよう配慮して実施しました。

イ 外食・外出

外食はファミリーレストランやファーストフード店などに年2回、外出は公園や観光地などに年1回ずつ行きました。

（8）短期入所

	定員	年度	開所日数	延利用数	利用率	1日平均利用者数
短期入所	5名	令和6年度	365日	1,895名	103.83%	5.19名
		令和5年度	366日	2,410名	131.69%	6.58名

新規契約者数は9名でした。令和5年度は移行のため空室になっていた女性棟を活用していましたが、男性利用者が入所されたことから実績は令和5年度よりも減少しています。

4 環境整備

専門の清掃業者を入れ、利用者の居室及び吸気・排気口を中心に清掃に努めました。開所時から湿気によりカビが発生しており令和5年度に工事を実施しましたが、夏には他の箇所から新たにカビの発生がありました。また、エアコンの故障も続いたことから、令和7年度には結露対策工事とエアコンのメンテナンスを実施する予定としています。

障害特性からくる器物破損（扉など）については、その都度業者に依頼し修繕しました。

5 防災・防犯対策

避難マニュアルの点検、火災・地震・風水害を想定した避難訓練を実施しました。

BCPに沿って研修・訓練をし、法人内でも連携できるよう必要な箇所を見直しました。

月 日	内 容
4 月	異動職員を対象に避難経路確認・防犯機器説明
5 月 16 日	風水害想定避難訓練
6 月 13 日、11 月 21 日、3 月 25 日	夜間の地震・火災想定による避難・消火・通報訓練
7 月 11 日	炊き出し訓練
9 月 2 日	法人総合防災（日中大規模地震想定）

6 虐待防止・身体拘束適正化

(1) 虐待防止委員会及び身体拘束適正化委員会を開催しました。研修や職員へのセルフチェックの実施・分析を行いました。また、身体拘束についても定期的に個別支援会議を開催し拘束廃止を検討しました。

(2) 居室の施設による身体拘束等の虐待に認定される事案が1件ありました。臨時虐待防止委員会を開催し、全職員参加の虐待防止研修による身体拘束適正化の徹底を図るなど、対応策・再発防止策を講じました。

7 施設連携

入所施設（養和荘・第二養和荘・養楽荘・はるひ荘）間で、施設長会や各委員会活動（虐待防止・身体拘束適正化、感染症対策、BCP、地域移行、研修）を実施しました。法人のスケールメリットを活かした研修の連携、情報共有、課題の検討等を行いました。

8 その他

(1) 地域交流

毎週日曜日の午前中、隣接する特別養護老人ホームどんぐりの森の喫茶室をお借りして、喫茶室の運営を継続して行いました。

また、スノーブレン棟を予約制で地域の障害のある方や施設に開放しました。

(2) 地域移行

地域移行等意向確認担当者を設置し、利用者・保護者にグループホームに関する情報提供を行いました。また、対象となり得る利用者には買い物などで地域に出る機会を作ったり、荘内においてグループホームを想定した環境で過ごす機会を提供しました。

(3) 職員のメンタルヘルス

看護師が衛生管理者となり荘内においても衛生委員会を設置し、衛生管理者・荘長・支援員等が参加する会議を毎月開催しました。職場環境の改善と相談窓口の設置によるメンタル面でのサポート体制の構築等、風通しの良い職場づくりに取り組みました。

事業報告附属明細書（障害福祉サービス事業所 はさま）

生活介護事業は定員 30 名にて実施しました。また、春日井市事業で土曜・日曜日の余暇支援として地域活動支援センター事業を定員 19 名で実施しました。

事業実績につきましては、以下のとおりです。

1 生活介護

(1) 利用実績

	定員	年度	開所日数	延利用者数	利用率	1日平均利用者数
生活介護	30名	令和6年度	256日	7,398名	96.31%	28.89名
		令和5年度	255日	6,663名	87.09%	26.12名

(2) 利用者状況

利用開始			利用終了		
月 日	人数	備考	月 日	人数	備考
4月1日	1名	特別支援学校から	11月30日	1名	養楽荘へ
9月1日	1名	他事業所から	1月31日	1名	養和荘へ
1月17日	1名	他事業所から	1月31日	1名	養和荘へ

(3) 支援内容

ア 個別支援計画

少なくとも6か月に1回はモニタリング・再アセスメントを行い、適宜計画の変更を行うと共に、緊急対応確認シートの内容、各利用者・保護者のニーズを確認して、より良いサービスが提供できるよう努めました。

イ 日中活動

- (ア) 歩行（岩船神社、焼山公園、農村公園、第二養和荘外周、養和荘グラウンド）
- (イ) 運動（ラジオ体操、ストレッチ体操、リハビリ・ハビリ運動等）
- (ウ) 軽作業（シュレッダー、シール貼り、ペグ指し等）・創作活動（絵画、貼り絵、塗り絵、作品展作品制作等）
- (エ) ボランティア講師による活動（茶道：抹茶、煎茶、お手玉、書道）
- (オ) 職員による文化的活動（煎茶、書道、お手玉）
- (カ) レクリエーション（各種ゲーム等）
- (キ) 入浴（希望者）

ウ 健康管理

看護師による月1回の体重・血圧測定（高血圧の方は週一回）を実施し各家庭に報告しました。服薬や受診等の個別の健康状態については、緊急対応確認シートを活用し送迎時の家庭からの聞き取りにより利用者の現状把握に努めました。

健康診断は5月15日（名古屋公衆医学研究所来所）、インフルエンザ予防接種は11月19日（勝川医院来所）に実施しました。

前年度から引き続き感染防止対策として検温、手指消毒、手洗い、事業所・送迎車両内の消毒・換気を励行しました。新型コロナウイルスやインフルエンザの罹患者はありませんでした。

エ ボランティア

活動内容は以下のとおりです。

団体名・氏名	曜日	内容
五月会	木曜日（月 1 回）	煎茶・生け花
たかなみ会	月曜日（月 1 回）	お手玉
小林 様	金曜日（月 1 回）	書道
堀 様	不定期	利用者支援

オ 行事

行事は下記のとおり実施しました。

5 月 31 日	ミニ運動会	雨天のため屋内にて実施
6 月 13 日 他 6 日間	小グループ外出	エアポートウォーク名古屋 利用者 28 名・7 グループにて実施
6 月 6 日	お茶会	はさま内にて実施
7 月 8 日	七夕会	はさま内にて実施
8 月 27 日	夏のつどい	はさま内にて実施
9 月 10 日 他 3 日間	ランチ外出	福祉の里（ほっともっと（テイクアウト）） 利用者 35 名・4 グループにて実施
10 月 31 日	ハロウィン	はさま内にて実施
11 月 6 日 他 4 日間	小グループ外出	東谷山フルーツパーク 利用者 30 名・7 グループにて実施
12 月 25 日	クリスマス会	はさま内にて実施
1 月 30 日	新年のつどい	はさま内にて実施
2 月 3 日	節分会	はさま内にて実施

（4）学生実習

東海学園大学からは 10 月 21 日～11 月 22 日の 4 週に渡り、8 名を教員免許取得のための介護等体験に受け入れました。

その他にも、坂下中学校より 12 月 3・4 日の 2 日間に 6 名の職場体験、愛知県警察学校より 12 月 11 日から 5 日間、延べ 5 名の体験実習を受け入れました。

2 地域活動支援センター（春日井市事業：土曜日・日曜日）

（1）利用実績

	定員	年度	開所日数	延利用者数	利用率	1 日平均利用者数
地域活動支援センター	19 名	令和 6 年度	102 日	1,477 名	76.21 %	14.48 名
	24 名 +1 名	令和 5 年度	104 日	1,572 名	62.98 %	15.11 名

※定員の「+1」は緊急時対応分

(2) 利用者状況

利用開始			利用終了		
月 日	人数	備考	月 日	人数	備考
4月 15 日	1名	はさま生活介護利用	7月 31 日	1名	グループホームへ
7月 23 日	1名	はさま生活介護利用	〃	1名	体調不良
			9月 30 日	1名	他法人施設へ
			10月 31 日	1名	利用実績なし
			〃	1名	体調不良
			1月 31 日	1名	養和荘へ

(3) 活動内容

ストレッチ体操、歩行、レクリエーション（フライングディスク、輪投げ、ポケネット、DVD鑑賞等）、おやつ作り等の余暇活動を実施しました。

3 全体

(1) 食事

キッチン高森と給食提供業務委託契約を締結し、キッチン高森分場より給食提供しました。栄養士と適宜利用者状況を共有し、栄養バランスや嗜好を考慮した季節感を感じられる献立作りや、利用者個々のニーズに合った食事形態やカロリー制限での提供に努めました。

(2) 通所支援

各家庭等と事業所間を車両による送迎を実施しました。運転手は乗務前点呼（呼気検査・体調・運転免許証の確認）を実施し安全運転に努めました。また、降車時に利用者が確実に車両から降りているかどうかの確認も行い、利用者の安全確保にも努めました。

(3) 防災・防犯対策

地震から火災、風水害、不審者対応を想定した訓練を下記のように実施しました。非常食は3食分を備蓄しており、今年度期限切れとなったため新しい非常食と入れ替えを行いました。また、災害時に備え、新たに簡易トイレ（凝固剤等も含む）を購入しました。

9月 2 日	地震、火災を想定した避難訓練	生活介護
9月 17 日	不審者の敷地内侵入を想定した防犯訓練	生活介護
10月 10 日	火災を想定した避難訓練	生活介護
11月 2 日	火災を想定した避難訓練	地域活動支援センター
11月 3 日	火災を想定した避難訓練	地域活動支援センター
11月 9 日	火災を想定した避難訓練	地域活動支援センター
11月 10 日	火災を想定した避難訓練	地域活動支援センター
12月 6 日	風水害にかかる避難訓練	生活介護

事業報告附属明細書（障害福祉サービス事業所 みずほ）

生活介護事業（定員 20 名）を実施しました。利用者の年齢層や障害の特質などが幅広いため、個々の多様なニーズに配慮し、安全・快適で充実した生活を送れるよう支援しました。

事業実績につきましては、以下のとおりです。

1 利用実績

	定員	年度	開所 日数	利用状況		
				延利用者数	利用率	1 日平均利用者数
生活 介護	20 名	令和 6 年度	256 日	4,369 名	85.31%	17.06 名
		令和 5 年度	255 日	4,260 名	83.52%	16.70 名

2 利用者状況

利用開始			利用終了		
月 日	人数	備 考	月 日	人数	備 考
4 月 1 日	1 名	春日台特支から			
7 月 25 日	1 名	たかもり併用			
1 月 9 日	1 名	なかざり併用			

3 支援内容

（1） 個別支援計画

利用者・家族の意見・要望を聞き取りながら、支援内容の見直し等を行いました。

（2） 日中活動

感染予防に留意し、活動を通して心身の健康を維持するとともに、様々な体験をすることができるよう支援しました。午前は生産活動として軽作業を行い、午後は運動・レクリエーションなどで、活動にメリハリをつけ、利用者の気持ちの安定と充実を図りました。

※夏期は午前・午後の活動を入れ替えて実施しました。

ア 歩行（近隣の公園等への身体機能に合わせた歩行）

イ 運動（ラジオ体操、ストレッチ、ダンス、フライングディスク等）

ウ 生産活動（毛染め用の手袋・櫛・説明書のセット、額縁ケースの箱折り）

※生産活動の収入は、本人支給金として分配しました。

	令和 6 年度	令和 5 年度	前年度比
作業収入	241,934 円	284,239 円	85.11%
本人支給金	235,817 円	278,359 円	84.71%
支給人数（延べ）	240 人	240 人	100%
平均支給額（月）	982 円	1,159 円	84.72%

エ 創作活動（絵画、手芸、工作等）

オ 園芸（草花の栽培・等）

カ 音楽（歌唱、楽器演奏等）

キ レクリエーション（ゲーム、カラオケ、DVD鑑賞、季節に合わせた行事等）

ク 社会参加活動（公園清掃、公共施設の利用、買い物、外出等）

(3) 行事

例年どおりの外出・外食・買い物など、地域生活に密着した楽しい活動を実施しました。
なお、7月～9月の高温期は出来る限り外出行事は控えました。

4月3・4・5日	春の散策	名古屋城
7月17・18・19日	グループ別外出	ミツカンミュージアム、トヨタ博物館、清州城
10月25日	一日外出	シーライフ名古屋
12月19日	クリスマス会	福祉の里
1月23日	新年会 (みずほの集い)	福祉の里(保護者参加)
3月28日	お花見	森林公園

※上記の他、福祉の里を利用し、カラオケ等を楽しみました。また、隔月グループ別で「お買い物ツアー」を実施しました。

(4) 健康管理

日常的に保護者等と情報共有をし、健康診断等は下記のとおり行いました。

毎月1回	体重・血圧測定	みずほ看護師及び支援員
毎月1回	医師による支援相談(3～4名)	嘱託医師及び看護師
5月14日	利用者健康診断	名古屋公衆医学研究所(養和荘にて)
11月26日	インフルエンザ予防接種	勝川医院往診(なかざりにて)

※検温、手洗い、消毒、マスクの着用、室内の換気など感染症予防対策を日常的に行いました。
なお、新型コロナウイルスの感染が確認された利用者は9名あり、外出自粛に伴う欠席や利用控えがありました。また、感染症予防について、看護師による職員向けの勉強会を実施しました。

(5) 食事

宅配の食材により、事業所内で調理して昼食を提供しました。

(6) 通所支援

4ルートで自宅及びグループホームと事業所間の送迎を実施しました。短期入所利用時は、宿泊先への送迎も行いました。また、送迎後の車内消毒、利用者の降車確認を毎回実施しました。

4 防災・防犯対策

防災計画に基づき、下記の訓練を実施しました。

6月11日 9月2日 3月19日	総合防災訓練 (地震～火災想定)	地震発生時のシェイクアウト訓練 緊急避難場所(天王公園・柏原小学校)までの避難
------------------------	---------------------	--

※事業継続計画(BCP)について、職員に周知徹底を行いました。

事業報告附属明細書（障害福祉サービス事業所 たかもり）

生活介護事業（定員 20 名）を実施しました。事業実績につきましては、以下のとおりです。

1 利用実績

	定員	年度	開所日数	延利用者数	利用率	1 日平均利用者数
生活介護	20 名	令和 6 年度	256 日	5,386 名	105.19%	21.03 名
		令和 5 年度	255 日	5,253 名	103.00%	20.60 名

2 利用者状況

利用開始			利用終了		
月 日	人数	備考	月 日	人数	備考
4 月 1 日	1 名	特支中等部卒業	2 月 28 日	1 名	養和荘へ
		みずほととの併用利用	3 月 31 日	1 名	養楽荘（S T）へ

3 支援内容

（1）個別支援計画

少なくとも 6 か月に 1 回はモニタリング・再アセスメントを行い、適宜計画の変更を行うと共に、緊急対応確認シートの内容、各利用者・保護者のニーズを確認して、より良いサービスが提供できるよう努めました。

（2）日中活動

ア 生活介護

- （ア）音楽療法
- （イ）歩行（小牧四季の森、定光寺公園等）
- （ウ）ドライブ
- （エ）ストレッチ体操
- （オ）創作活動（絵画、貼り絵、塗り絵等）
- （カ）リラクゼーション
- （キ）買い物（近隣のスーパー、薬局等）

イ 喫茶

- （ア）ホール部門において接客対応訓練
- （イ）厨房内にて盛りつけ、食器洗浄訓練

※喫茶部門においては従事する利用者に対し、1 日 100 円の日当を支給

(3) 行事

5月30日	グループ外出	こども陶器博物館
6月25日	グループ外出	東山動物園
7月30日	グループ外出	かがみはら航空宇宙博物館
8月20日	夏祭り	たかもりで実施
8月27日	グループ外出	道の駅したら
9月24日	グループ外出	MIZKAN MUSEUM
10月3日	きずなコンサート	たかもりにて訪問実施
10月22日	グループ外出	トヨタ博物館
10月31日	ハロウィン会	たかもりにて実施
12月5日	グループ外出	県営各務原公園
12月24日	クリスマス会	たかもりにて実施
1月7日	新年会	たかもり及び岩船神社にて実施

(4) 健康管理

看護師による月1回の体重・血圧測定（高血圧の方は週一回）を実施し各家庭に報告しました。服薬や受診等の個別の健康状態については、緊急対応確認シートを活用し送迎時の家庭からの聞き取りにより利用者の現状把握に努めました。

各感染症の予防対策として、登所時の検温、手指消毒の徹底。また、事業所・送迎車両の換気を励行し、職員から感染予防のために、スクリーニング検査を月2回程度実施しました。

なお、ノロウイルス感染症の罹患者が1名あり、同時期に因果関係不明の体調不良者(下痢、嘔吐)4名が確認されたため、たかもり本体を消毒すると共に、カフェ部門は臨時休業の上、消毒作業を行いました。以降の感染拡大はありませんでした。

5月27日	健康診断
11月27日	インフルエンザワクチン接種（利用者）

(5) 食事

キッチン高森に委託して提供しました。

(6) 通所支援

各家庭等と事業所間を車両による送迎を実施しました。運転手は乗務前点呼（呼気検査・体調・運転免許証の確認）を実施し、安全運転に努めました。なお、送迎の都度車内に利用者が残っていないかの確認を車内消毒の実施と共に励行しました。

4 防災・防犯対策

下記のように訓練をしました。なお、春日井市とは大規模災害における要介護者等の受け入れについて協定を締結しています。

5月14日	地震、火災を想定した避難訓練
9月2日	法人総合防災訓練、炊き出し訓練
1月16日	地震、火災を想定した避難訓練

5 学生実習

下記のとおり実習の受け入れを行いました。

12月3・4日	坂下中学校職場体験実習（各2名）
6月17～21日、8月8日、 3月27・28日	瀬戸つばき特別支援学校生 生活介護事業体験実習（各1名）

6 地域貢献

社会福祉法人による「地域における公益的な取組」のために、訓練作業室、カフェはなももギャラリー及び駐車場を地域の団体等の活動の場として提供しました。

4月7日、6月2日、8月4日、10月6日、 12月1日、2月2日	フードバンクかすがい
5月24日、9月20日、11月1日、1月31日	高森台中学校 研修会
4月20・28日、5月12・19日、6月23日、 7月13・28日、8月25日、9月14・22日、 10月27日、11月9・24日、12月22日、 1月26日、2月8・23日、3月15・23・29日	NPO 法人 高蔵寺どんぐりs ハート・ほっと・ルーム
8月24日、12月1・21日、2月8日	NPO 法人 高蔵寺どんぐりs 役員会
12月14日、2月15日	ギターオーケストラ
4月21日	高蔵寺ニュータウン少年野球リーグ
11月9日、12月22日、1月12日、2月8日、 3月22日	東高森台地区社協

7 その他

外部評価機関（中部評価センター）による第三者評価を受審しました。

事業報告附属明細書（障害福祉サービス事業所 なかぎりワークス）

就労継続支援B型事業（定員 48 名、契約利用者 46 名）を実施しました。
事業実績につきましては、以下のとおりです。

1 利用実績

	定員	年度	開所日数	延利用者数	利用率	1 日平均利用者数
就労 B 型	48 名	6 年度	256 日	10,555 名	85.89%	41.23 名
		5 年度	255 日	10,871 名	88.81%	42.63 名

＊開所日数は、販売日による一部開所を除く日数

2 利用者状況

利用開始			利用終了		
月 日	人数	備考	月 日	人数	備考
		該当者なし	5 月 31 日	1 名	死亡
			3 月 10 日	1 名	契約解除

3 支援内容

（1）個別支援計画

計画に沿った支援を行うと共に、6 か月毎にモニタリングし、利用者・保護者の意見・要望を聴き取りつつ、計画の見直しを行いました。

（2）生産活動

ア 農作物事業

敷地内ハウスにおける野菜栽培を中止しました。

	野菜販売
令和 6 年度	0 円
令和 5 年度	268,800 円
前年度比	

イ パン事業

イベント販売に積極的に参加し、売り上げの維持に努めましたが減少しました。また、ひなご幼稚園へのパン納品を始めました。

	納品・店内販売	元気ショップ	イベント	合計
令和 6 年度	6,268,314 円	5,653,430 円	610,140 円	12,531,884 円
令和 5 年度	6,806,447 円	5,669,220 円	718,860 円	13,194,527 円
前年度比	92.09%	99.72%	84.87%	94.97%

ウ 製品受注事業

主として市内及び隣接する地域の企業 7 社から製品加工の受注を行いました。継続して取引が出来ているため作業のレベルが上がり、更なる作業効率の見直しと作業単価を考え取引を受注しています。

令和 6 年度	3,556,960 円	エルスタット、梱包屋、ハートコープ愛知 (TUTTI 経由) ケイティケイ、大額、MNT、サンスイ生産組合
令和 5 年度	3,608,426 円	
前年度比	98.57%	

エ 施設外就労

令和 6 年度	427,000 円	エアフロントオアシス公園清掃 ※隔年実施
令和 5 年度	0 円	
前年度比		

オ 作業収入と工賃

昨年度は製品受注事業、パン事業で売上が下がりました。施設外就労（エアフロントオアシス公園清掃）がありました。

	作業総収入額	工賃総支払額	平均利用者数	平均工賃月額
令和 6 年度	16,515,844 円	8,254,793 円	41.3 名	16,656 円/月
令和 5 年度	17,071,753 円	9,109,631 円	42.7 名	17,778 円/月
前年度比	96.74%	90.61%	96.72%	93.68%

(3) 行事

保護者・地域等の外来者の来所は見合わせ、規模を縮小して実施しました。

6 月 5 日	王子製紙合同アダプト清掃
6 月 11・18・25 日	お楽しみ外出 (リトルワールド) 3 グループで実施
9 月 17 日	きずなコンサート
10 月 20 日	春日井まつりパレード (どっこいせ踊り)
11 月 4 日	げんきまつり
12 月 12 日	初級フライングディスク教室
12 月 24 日	クリスマス会 (ケーキ提供)
1 月 13 日	新年会 観音寺初詣 グリーンパレスにて会食

(4) 健康管理

利用者の健康管理を、下記のとおり行いました。

5 月 13 日	健康診断 (名古屋公衆医学研究所来所)
11 月 26 日	インフルエンザ予防接種
毎月 1 回	体重・血圧測定

感染症対策として手洗い、うがいを実施し、マスクの着用を勧奨しました。来所時に検温して体調確認をしました。

令和 7 年 1 月より協力医療機関を勝川医院より北陽会病院に変更しました。

(5) 食事

業者委託による給食提供を行いました。

(6) 通所支援

マイクロバスと 8 人乗り送迎車両にて、春日井駅・八光公園、勝川駅の送迎、また、高蔵寺方面の利用者及び一部グループホーム利用者の送迎を実施しました。33 名の利用者が送迎サービスを利用しました。降車後に利用者が公用車に残されていないか確認しました。

(7) 本人会支援

利用者のエンパワメントを高める機会として、毎月本人会（せいかつ集会）を開催し、意見発表の場を設けると共に、委員会活動などが主体的に進められるよう、見守り・助言を行いました。

4 防災・防犯対策

防災及び防犯の訓練は下記のとおり実施しました。

4 月 26 日	防災オリエンテーション
6 月 26 日	通報訓練
8 月 23 日	風水害避難訓練
9 月 2 日	法人総合防災訓練（地震・火災想定 of 避難訓練）
1 月 24 日	防災教育（避難場所・経路の確認）
3 月 3 日	不審者対応訓練

春日井警察・地域安全課に不審者侵入を想定した講習と講和を依頼しました。備蓄品の賞味期限が切れるため非常食と保存水を購入しました。

5 地域交流・地域貢献

春日井まつりどっこいせパレード、いい汗流そう大会、合同クリスマス会に参加しました。福祉のつどい、こいのぼりイベント、緑と花のフェスティバル、センターふれあいフェスティバル、ハーモニーフェスでパン、菓子販売を行いました。

地域貢献活動としては、庄内川河川敷清掃（王子製紙合同アダプト）に参加しました。また、本人会活動による地域美化（ゴミ拾い）活動を、小グループ単位で実施しました。

事業報告附属明細書（障害福祉サービス事業所 わかば）

多機能型事業所として、自立訓練（生活訓練）事業（定員 6 名）と就労継続支援 B 型事業（定員 34 名）を提供してきました。事業実績につきましては、以下のとおりです。

1 自立訓練（生活訓練）事業

（1）利用実績

	定員	年 度	開所日数	延利用者数	利用率	1 日平均 利用者数
自立訓練	6 名	令和 6 年度	256 日	774 名	50.39%	3.02 名
		令和 5 年度	254 日	1,078 名	70.73%	4.24 名

（2）利用者状況

利用開始			利用終了		
月 日	人数	備 考	月 日	人数	備 考
			5 月 31 日	1 名	他事業所へ
			3 月 14 日	1 名	他事業所へ
			3 月 31 日	2 名	就労 B に移行

（3）支援内容

4 名の利用者で事業を開始しましたが、5 月末に利用者が 1 名他事業所へ移り、3 名で行うことになりました。新規利用者が中々見つからず、令和 7 年 4 月 1 日より休止となりました。

ア 生活活動

家事：日々の食器等の片づけや月 1 回の調理実習、調理のための買い物、事業所内の清掃などを「これを作るためには何を買い物するのか」「どこを掃除するとよいのか」等メンバーで話し合いながら決めて行いました。

作業：わかば駐車場花壇の手入れや内職作業、事業所行事の補助活動（飾り付けなど）を行いました。

イ 健康

屋外歩行、館内歩行、動画を見ながら室内でエアロビクス、ボッチャなどを行い、体を動かし、体力の維持、向上に努めました。

ウ 教養

ノートに作文や字を書く、パソコン入力（1 名）などを行いました。間違い探しや点字つなぎなどの脳トレも行い、集中して行う様子がうかがえました。

エ 趣味・娯楽

創作活動では、貼り絵、誕生日カード・行事で使用する飾りづくり等、集中力や手先の作業能力向上を目的とするプログラムを実施しました。11 月にはふれあいアート展への出展も行い、皆で見学に出掛け、達成感・充実感を実感できました。

音楽鑑賞では一人ずつ順番に好きな曲をリクエストして流し、昼食後の休憩時間にカラオケで歌うこともありました。

また、都市緑化植物園や四季の森に出掛け、動物との触れ合いなどを行いました。

2 就労継続支援 B 型事業

(1) 利用実績

	定員	年 度	開所日数	延利用者数	利用率	1 日平均 利用者数
就労継続 支援 B 型	34 名	令和 6 年度	258 日	7,211 名	82.20%	27.94 名
		令和 5 年度	257 日	7,374 名	84.06%	28.69 名

(2) 利用者状況

利用開始			利用終了		
月 日	人数	備考	月 日	人数	備考
4 月 1 日	1 名	一般就労から	12 月 2 日	1 名	他事業所へ
			1 月 30 日	1 名	他事業所へ

(3) 支援内容

ア 本場クリーニング作業

入所施設（養楽荘・はるひ荘）からの洗濯物受注を基幹作業とし、中日本リネンから布団類のクリーニング及び不定期で毛布のドライクリーニング、医療療育総合センターの一時保護患者衣類の洗濯業務、また、東洋から美容室等のタオルクリーニング受注も行いました。その他、不定期ではありますが、白布やカーペットカバー、作業服等クリーニングの依頼も受け、実施しました。

イ 内職作業

引き続き株式会社ヤガミからのキューマスキの梱包作業、株式会社和泉からの気泡緩衝材の切断・仕分け・梱包作業、有限会社梱包屋からの毛染め用品の袋詰作業を中心に行いました。ヤガミからはスポットで小学校の理科の実験に使われる簡易スイッチの組み立ての受注が入るなど単発の作業依頼が入ることが増えてきました。

ウ 分場作業

入所施設（養和荘・第二養和荘）からの洗濯物受注を基幹作業とし実施しました。

エ 作業収入と工賃

各種燃料費の高騰に伴い、クリーニング料金の見直し(内部)を実施しました。また、クリーニング業務で単発の依頼も増えた結果、平均工賃も昨年度に比べ上がりました。

年 度	総収入額	総経費額	工賃総支払額	平均 利用者数	月 額 平均工賃
令和 6 年度	16,258,714 円	10,596,021 円	5,662,693 円	28.0 名	16,853 円
令和 5 年度	15,447,897 円	9,809,273 円	5,638,624 円	28.7 名	16,372 円
対前年比	105.24%	108.02%	100.42%	97.56%	102.93%

3 共通

(1) 個別支援計画

計画担当者 4 名を中心とし、計画内容に沿った適切なサービスを提供しました。また、保護者・利用者のニーズを聴き取り、計画内容を自立訓練は 3 か月、就労 B は 6 か月毎に見直し、次期計画につなげるようにしました。

(2) 行事

以下の行事を実施しました。小グループ毎での外出は、納品の少ない火曜日に予定を組み実施しました。

7月9日	キッチンカー来所イベント	昼食会として実施（事業所内）
10月8日	グループ外出（就労①）	就労：名古屋港水族館 自立：恵那峡
10月28日	グループ外出（自立）	
10月29日	グループ外出（就労②）	
12月24日	クリスマス会	アルバム（写真）の作成、配布（事業所内） 菓子の配布
12月17日	餅つき	餅つき機を使用し、おやつでお汁粉（自立訓練事業がメインで調理）を提供（事業所内）
2月3日	節分会	鬼に扮した職員に新聞紙を丸めて作った豆を投げて実施（事業所内）
3月25日	慰労会	一年の振り返りを兼ねた昼食会（日本料理 わさび）（事業所内）

（3）健康管理

利用者健康診断、インフルエンザワクチン接種を実施しました。

また、昨年度に引き続き新型コロナウイルス感染防止対策として日々の検温実施、マスクの常時着用、適宜の手洗い・消毒を実施してきました。

今年度は9月12日～10月1日に1名入院（消化管炎症）、11月18日～11月21日に1名入院（白内障手術）、2月27日～3月7日に1名入院（虫垂炎穿孔）しましたが、昨年度に比べると入院件数は減りました。就労施設とはいえ、利用者の高齢化は進んでいるため、GH職員や保護者と情報共有しながら日頃の健康観察や緊急対応確認シートの見直しをすると共に健康管理の把握に努めました。

（4）食事

キッチン高森に委託し、日々の食事提供を行ってきました。利用者の意見等を伝え、美味しい食事の提供に努めました。

4 防災・防犯対策

避難訓練または通報訓練を実施し、わかば本部、分場ともに大きな混乱や問題はありませんでした。その他、職員に対する防災関連教育を実施し、非常食の確認も行いました。消防設備点検では、今年度指摘はありませんでした。

防犯についても、職員に対し、さすまたの使用方法や注意点等を復習する機会としました。

5 環境整備

9月5日に専門業者による殺虫対策を実施しました。

事業報告附属明細書（障害福祉サービス事業所 さいおワークス）

西尾町と坂下町の2事業所において、事業を実施いたしました。

西尾町では就労継続支援B型事業（定員20名）を、坂下町では就労移行支援事業（定員8名）を実施しました。

事業実績につきましては、以下のとおりです。

1 就労移行支援事業

（1）利用実績

定員	年度	開所日数	利用状況		
			延利用者数	利用率	1日平均利用者数
8名	令和6年度	256日	1,049名	51.22%	4.09名
	令和5年度	255日	1,288名	63.13%	5.05名

（2）利用者状況

利用開始			利用終了		
月 日	人数	備 考	月 日	人数	備 考
1月20日	1名	在宅から	1月6日	2名	一般就労へ
2月6日	1名	他事業所から	3月1日	1名	就労A型事業所へ
3月3日	1名	一般企業から			
3月17日	1名	支援学校から			
3月31日	1名	在宅から			

（3）支援内容

一般就労及び就労定着を目指して、事業所内での訓練や職場体験・実習・職場定着支援を行いました。

ア 事業所内訓練

事務系作業（パソコン作業、作業日報、物品請求書、数値チェック）、製造及びサービスに関する作業（計量、組立、物流ピッキング、ラップ掛け）、JST（職場対人技能トレーニング）を行いました。また、キューマスク袋詰め、DPD錠剤袋詰め等の受注作業も行い、工賃を受け取ることにより働く喜びと、適度な緊張を感じながら作業を行いました。

イ 就職活動

求人票の見方、履歴書や職務経歴書の作成、模擬面接を行なうなど、就職に向けての意識を高めるようにしました。また、企業説明会や面接にも付き添い、就職活動を行いました。

ウ 職場体験、実習

一般就労や A 型事業所の利用に向けて、事前見学や面談を行い、職場体験や実習に臨みました。

エ 職場定着

一般就労した方については、就職後 6 か月間、就労先を訪問し、本人や企業の担当者から聞き取りを行い調整・助言を行いました。また、家族からの相談にも対応しました。

オ 作業収入と工賃

就労移行支援ですので、あくまで補助的な役割ですが、工賃は利用者の作業・訓練へのモチベーションアップにもつながっているため、継続していきます。

年度	総収入額	総経費額	工賃総支給額	平均利用者数	平均工賃月額
令和 6 年度	176,841 円	0 円	176,841 円	4.1 名	3,594 円
令和 5 年度	203,729 円	0 円	203,729 円	5.1 名	3,328 円
前年度比	86.80%		86.80%	80.39%	107.99%

2 就労継続支援 B 型事業

(1) 利用実績

定員	年度	開所日数	利用状況		
			延利用者数	利用率	1 日平均利用者数
20 名	令和 6 年度	256 日	5,026 名	98.16%	19.63 名
	令和 5 年度	255 日	4,685 名	91.86%	18.37 名

(2) 利用者状況

利用開始			利用終了		
月 日	人数	備 考	月 日	人数	備 考
	なし		12 月 1 日	1 名	生活介護へ

(3) 支援内容

施設内での受注作業や施設外就労を通し、働く喜びや達成感が得られるよう支援しました。

ア 受託作業

協力会社 6 社より作業を受注し、毛染め用品のセット、梱包、ビニールロープの樹脂リングの取付け、キューマスキの袋詰め、気泡緩衝材梱包作業等を中心に取り組みました。また、1 月より第二養和荘の清掃業務に取り組んでいます。

イ 施設外就労

春日井市委託：内津公衆便所清掃（2 回／週、利用者 2 名支援員 1 名で編成）で実施しました。

ウ 作業収入と工賃

物価高によるガソリンの高騰で経費が昨年より上がったこと。企業側の経営方針の変更により昨年より内職を受注する数が減少したため、工賃が大幅に下がりました。これを受け新たに清掃業務を令和 7 年から開始し、安定した収入の確保に努めていきます。

年度	総収入額	総経費額	工賃総支給額	平均利用者数	平均工賃月額
令和 6 年度	3,627,321 円	396,367 円	3,230,954 円	19.7 名	13,667 円
令和 5 年度	4,193,841 円	339,694 円	3,854,147 円	18.4 名	17,455 円
前年度比	86.49%	116.68%	83.83%	107.06%	78.29%

(4) 給食

安心できる食材を使用した栄養バランスの良い「キッチン高森」のクックチル方式の食事を提供しました。

3 共通

(1) 個別支援計画

担当者 2 名を中心とし、計画内容に沿った適切なサービスを提供しました。

また、利用者・保護者のニーズを聴き取り、計画内容を就労移行支援は 3 か月、就労継続支援 B 型は 6 か月毎に見直し、次期計画に繋げるようにしました。

(2) 行事

以下の行事を実施しました。食事会等については、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、3 密を避けるよう努めました。

5 月 3 日	バーベキュー	さいおワークス駐車場
6 月 28 日	お茶会	事業所内
7 月 5 日	七夕	事業所内
9 月 17 日	きずなコンサート	東部市民センター
10 月 23 日	秋の行楽	リニア鉄道館
12 月 25 日	クリスマス会	事業所内
1 月 10 日	新年会	事業所内
2 月 3 日	節分	事業所内

(3) 健康管理

毎月 1 回の血圧測定・体重測定を実施しました。

5 月 23 日	健康診断
11 月 27 日	インフルエンザ予防接種

手洗い・うがい・検温・換気に取り組み感染予防に努めました。コロナ感染者は数名確認されましたが感染拡大することありませんでした。

(4) 通所支援

家庭と事業所、拠点間の送迎を行い、降車後の車内確認を行いました。

4 防災・防犯対策

火災、地震の災害が発生した場合に備え、利用者の安全確保を第一に考えて行動ができるように、避難誘導訓練等を次のとおり実施しました。また、防犯マニュアルを見直し、不審者の侵入に対する対応を職員に周知徹底しました。

月 日	訓 練 内 容
9 月 2 日	日中想定地震火災避難誘導・通報訓練 (B 型、就労移行)
2 月 21 日	日中想定地震火災避難誘導・通報訓練 (B 型、就労移行)
3 月 28 日	日中想定地震火災避難誘導・通報訓練 (B 型、就労移行)
3 月 21 日	消火器使用研修・防犯研修
3 月 31 日	日中想定地震火災避難誘導・通報訓練 (B 型、就労移行)

事業報告付属明細書（障害福祉サービス事業所 キッチン高森）

就労継続支援 A 型事業所（定員 20 名）を実施しました。

利用者が自立した日常生活や社会生活を営むことができるよう、雇用契約を締結し、雇用の機会を提供すると共に、就労に必要な知識及び能力の向上のために必要な訓練等を実施しました。

事業実績につきましては、以下のとおりです。

1 利用実績

	定員	年度	開所日数	延利用者数	利用率	1 日平均 利用者数
就労継続 支援 A 型	20 名	令和 6 年度	365 日	4,047 名	55.43%	11.08 名
		令和 5 年度	366 日	3,987 名	54.46%	10.89 名

2 利用者状況

利用開始			利用終了		
月 日	人数	備 考	月 日	人数	備 考
4 月 16 日	1 名	公共職業安定所から	5 月 16 日	1 名	県外グループホームへ
9 月 1 日	1 名	公共職業安定所から	7 月 9 日	1 名	病状悪化
			8 月 15 日	1 名	病状悪化
			10 月 31 日	1 名	一般就労へ

3 支援内容

（1）個別支援計画

6 か月に 1 回はモニタリングを行い、利用者・保護者のニーズを確認してより良いサービスが提供できるよう努めました。

（2）作業内容・営業時間及びサービス提供時間の状況

作 業 内 容	利用者の適性に応じた作業内容とし、主調理、盛付、配膳、食材カット、真空パック、洗浄作業等の業務を行います。
営 業 時 間	午前 6 時から午後 8 時
サービス提供時間	午前 6 時から午後 8 時（このうち最大 8 時間）

*3 食を提供しているため、利用者の勤務時間はシフト制にて実施しました。

（3）行事

食事会については、季節感を大切にしながら恵方巻を各自で巻くなど楽しめる会食に努めました。

(4) 健康管理

年1回の定期健康診断、インフルエンザの予防接種を実施しました。

感染症対策及び衛生管理のため、健康状態の確認と検温、うがい、手洗い、手指消毒を徹底するとともに、事業所と送迎車の消毒・換気を定めた時間に行いました。

なお、新型コロナウイルスの感染が確認された利用者は2名いました。

(5) 食事

栄養バランスや嗜好を考慮した献立をもとに、事業所内調理員にて調理を行い提供しました。

また、利用者ごとの摂取量を記録し、毎月体重やBMIを管理することで栄養面の把握に努めました。

(6) 通所支援

勤務時間等を考慮し、公共交通機関による通所が困難な利用者に対して、JR高蔵寺駅と事業所間の送迎を実施しました。降車後に利用者が公用車に残されていないか確認しました。

4 給食等の提供状況

(1) 給食の提供

提供先	提供者区分	年間提供食数		
		令和6年度	令和5年度	前年度比
養和荘(3食)	施設入所者	80,527食	80,162食	100.45%
	短期入所者	2,366食	2,875食	82.29%
第二養和荘(3食)	施設入所者	40,714食	42,991食	94.70%
	短期入所者	194食	95食	204.21%
養楽荘(3食)	施設入所者	42,786食	42,210食	101.36%
	短期入所者	2,648食	2,116食	125.14%
はるひ荘(3食)	施設入所者	37,127食	40,061食	92.67%
	短期入所者	4,153食	5,331食	77.90%
はさま(昼食)	通所利用者	8,848食	8,205食	107.83%
わかば・わかば分場(昼食)	通所利用者	8,192食	9,349食	87.62%
さいおワークス(昼食)	通所利用者	5,054食	4,706食	107.39%
たかもり(昼食)	通所利用者	5,411食	5,199食	104.07%
合 計		238,020食	243,300食	97.82%
職員(スタッフ含む)・ボランティア・実習生		15,090食	15,666食	96.32%

(2) 弁当の提供

提供先		提供者区分	年間提供食数		
			令和6年度	令和5年度	前年度比
法人外部	第二希望の家	成人利用者	1,899 食	1,672 食	113.57%
		幼児利用者	136 食	122 食	111.47%
	少年自然の家	宿泊体験者	901 食	814 食	110.68%
	緑化フェスティバル		244 食	165 食	147.87%
	その他（福祉協会・学童等）＊		84 食	—	—
法人内部		利用者・職員	168 食	173 食	97.10%

＊提供先の法人外部その他は新規となります。

(3) 惣菜販売・食材販売

提供先	販売数		
	令和6年度	令和5年度	前年度比
カフェはなもも	5,826 個	6,020 個	96.77%

5 防災・防犯対策

火災、地震、不審者を想定した訓練を下記のように実施しました。

実施日	実施内容
6月20日、9月2日、 11月21日、2月3日	防災・防犯訓練・防災勉強会 (消火、通報、避難誘導)

6 衛生管理

衛生管理の徹底を図るため、衛生管理事業を次のとおり実施しました。

	実施時期	実施項目
利用者・職員	毎日	服装・身だしなみ・つめ・頭髪等の衛生点検
	毎月	検便
	毎月	手洗い講習
	8月20日・10月29日	衛生・感染症研修(外部)
	10月から2月	ノロウイルス検査(職員)
作業所	毎月	衛生検査(内部)
	毎月	厨房害虫駆除(外部)
	毎月	グリストラップかご清掃(内部)
	年4回	グリストラップ清掃(外部)
	7月5日・10月3日	衛生ふき取り検査(外部)

7 施設実習

特別支援学校高等部生徒及びスタッフ希望者を対象に次のとおり施設実習を行いました。

実施時期	実習者	人数
6月17日～6月28日	瀬戸つばき特別支援学校高等部3年	1名
7月10日～7月12日	スタッフ希望者	1名
8月12日～8月15日	スタッフ希望者（採用）	1名
10月7日～10月8日	スタッフ希望者	1名
10月21日～11月1日	瀬戸つばき特別支援学校高等部3年	1名
3月17日～3月18日	スタッフ希望者	1名

8 大学生実習研修

大学からの要請に基づき、管理栄養学部生を対象に実習研修を行いました。

実施時期	実習者	人数
8月19日～8月23日	中部大学学生	2名
8月26日～8月30日	中部大学学生	2名
9月9日～9月13日	中部大学学生	2名
2月17日～2月21日	中部大学学生	2名
3月10日～3月14日	中部大学学生	2名